



## 第14回学術大会を終えて

大会長 栗林 文雄

第14回日本音楽療法学会学術大会は2014年9月20日、21日に名古屋国際会議場において開催され、無事に終了いたしましたことを報告いたします。それに先立つ19日には高齢者・緩和ケア、精神、児童の領域にわたり、それぞれ4コマの講習会がもたれ、多くの参加者が終日熱心に勉強されていたのが印象的でした。ちなみに本大会への総申込者数は事前、当日参加者を合計すると約2,200名、その内、講習会参加者は約1,500名、交流会への参加者数は約450名、そして別途市民講座の聴講者数は約400名でありました。広い名古屋国際会議場に多くの学会員が集まり、共に学び楽しむことができました。また、今回の託児利用への参加児童は20名でした。今回の学術大会が大きなトラブルもなく終了しえたのは、事前の綿密な計画、担当役員の奮闘、ボランティア達の活躍など、目に見えない関係者の努力があったためです。本当に感謝すべきことであります。

大会長として開催前に密かに心配していた事は当日の天候でした。9月の後半は台風シーズンのただ中であり、東海地域はその通り道になる事が多いのです。開催の直前には天気図を眺めて心配する毎日を送りました。しかし幸い当日は快晴に恵まれ、非常に安定した太平洋高気圧に守られた大会でした。

日野原重明学会理事長のお元氣な基調講演を聴くことができたのは大きな喜びでした。先生がセンチュリーホールの広い舞台に立たれたままで、例年と同様に着席する事もなく60分の講演を終えられた時には、一般市民を含む2,500名ほどを収容する会場から大きな拍手がわき起りました。

本大会のテーマは「臨床現場における人と音楽とのエンゲージメントを考える～個を生かし個を結びつける音楽療法～」でありました。このテーマは講習会から海外ゲストの講演、さらに大会長講演とシンポジウムに共通するものであり、今回の大会の大きな柱となった概念です。今大会のキーワードにエンゲージメントという英単語を選んだのは、海外からのゲスト講師にも我々の意図を明快に伝えるためでした。

海外からの講師は二人お願いしました。一人は米国カンザスから参加されたアリシア・アン・クレア博士ともう一人は英国ケンブリッジから来日されたアメリア・オールドフィールド博士です。クレア博士は認知症をもつ高齢者に対する音楽療法の権威者であり、オールドフィールド博士は長年にわ

たり自閉症スペクトラム児童や知的障がいをもつ児童を対象に音楽療法を展開してきた方です。お二人はともに音楽療法の臨床活動の経験が長く、また研究活動においても実績のある先生方でした。19日の講習会、20日の特別講演と十分に時間を取り講義と画像を通してお二人の音楽療法の世界に触れる事ができたのは大変に幸いなことであったと思います。明快な理論的展開、クリアな発音、大変魅力的なプレゼンテーションでありました。お二人の海外講師の講義を通訳されていた四人の先生方の努力にも感謝したいと思います。通訳の仕事は労多くしてあまり目立たない立場でもあり、また目立ってはいけない役目でもあります。私のカンザス大学時代の恩師でもあるクレア博士のように、講義が盛り上がり次第に早口になってくる方の通訳の難しさは私にも経験があります。

大会シンポジウムにお招きした三名の話題提供者の先生がたにも深く感謝いたしたいと思います。各領域で最も長い経歴をお持ちの遠山文吉先生、柏木哲夫先生、松井紀和先生にご登場願った真意は、過去を知る者に過去の出来事のみならず、さまざまな背景をもつ「音楽療法士」が混在している現在を踏まえて、将来の指針を語ってほしかったからです。自由なテーマの展開があり收拾が難しい状態でしたが、最後に会場からの素晴らしい質問があり、それに対して三人の先生から真摯な解答が返されました。その質問は「先生が人生の最後を迎える場面で、周りにどのような対応を期待しますか？」というものであったと記憶しています。

このように今回は東海支部役員を中心に精一杯努力をし、準備をいたしました。来年の第15回学術大会は札幌市での開催となります。偶然の事ながら北海道支部を立ち上げ、初代の支部長であった者としましても、多くのみなさまの参加を期待しております。皆様のご健闘をお祈りし、第14回大会の報告を終わりたいと思います。本当にありがとうございました。



大会シンポジウム

## 第15回日本音楽療法学会学術大会に向けて —第一次案内—

大会長 久村 正也

北国は秋も終わりかけ、そろそろ冬支度の季節になりました。朝に夕に吐く息の白みがかかる日も少なくありません。

全国の会員の皆様には、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

ご高承のように、第15回日本音楽療法学会学術大会が2015年9月11日（金）～13日（日）の3日間、札幌市で開催されます。第7回大会（2007年）が札幌市で開かれ、今回は2回目の開催になります。ご承知の皆様も多いことと存じますが、第7回大会は私が大会長として主宰させて頂きました。今回、支部評議員会の推薦を受け再び大会長を勤めさせて頂きます。再度のお勤めでございますが、宜しくお願ひ致します。

大会テーマは「音楽療法士のアイデンティティー～その専門性と一般性～」とさせて頂きました。音楽療法士は極めて高度な専門職ですが、その現状を見ると質的レベルにおいて玉石混淆の感があります。その理由の一つは、資格取得後の進むべき方向性の曖昧さ、不確かさにあるように思われます。私が身をおく臨床医学領域を例にとりますと、医師は優れて専門職であります。資格習得後一定期間の実地研修を経た後、目的・理念・使命を持ってある医師は家庭医・プライマリケア医などのオールラウンドな医療の道へ、ある医師は脳、心臓、あるいは神経難病などに特化した専門医への分野を目指します。これらの領域には専門職としての優劣は無く、いずれも社会に必須の領域です。

音楽療法士にもこの視点は欠かせず、家庭医的な音楽療法士、専門医的な音楽療法士があつて当然です。これが音楽療法士のアイデンティティーというものでしょう。音楽療法士としての自己同一性が確立されると、それに向かって新たな研鑽が要求され、勢い音楽療法士全体の質の向上が期待されます。この大会では、テーマに沿った会員諸氏のさまざまなご意見、ご討議をお待ちしております。

大会初日は恒例の講習会があり、目下プログラム委員会が内容を鋭意企画中であります。2日目、3日目の学術大会では、基調講演・教育講演・特別講演・鼎談・シンポジウム・一般講演など魅力ある沢山の企画が予定され、現在、プログラムの絞り込み、並びに国内外の講師予定者と折衝中であります。

お楽しみの交流会は12日夜、会議場内で催される予定です。北海道の秋の味覚と余興を楽しみながら、会員同士の親睦、情報交換に大いにお役立て下さい。

前回の札幌大会では、国家資格化を福祉領域において目指すという学会の基本方針が確認されました。今回の大会が、この方針の再確認を通して国資化実現の起爆剤の一になれば幸いに思います。

9月の北海道は、秋晴れの下、さわやかな空気が肌に心地よく、豊富な収穫物に恵まれ、総てにおいて最良の季節であります。音楽療法の知識を深め、日頃の疲れを癒し、明日への活力を蓄えるためにも是非札幌大会にご参加下さいますよう、私ども北海道支部会員一同は、クラーク博士、時計台、ジンギスカン鍋、札幌ラーメン、とうもろこしなど札幌の定番役者ともどもお待ちしております。

晩秋向寒の時節でございますが、会員皆様の一層のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げてご挨拶と致します。

（開催日：2015年9月11～13日、於札幌コンベンションセンター）

## ■ 日本音楽療法学会 研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会

委員長 高山 仁

当委員会では3年計画にて「音楽療法の理論と実践を繋ぐ専門性」をテーマとし、昨年度は心理学、医学、感覚統合、脳神経科学を専門とする先生方に、「理論と実践」をどのように繋げているかについてお話しいただきました。

企画2年目は前年度を踏まえ深める内容に入ります。理論家と実践家を前後に配置し、講義時間を120分以上とし、「理論と実践を繋げる」作業に具体性を持たせたいと考えております。

1日目は会場を2つに分け、A会場：講義1では対象者を主に成人・高齢者とし「認知リハビリテーションと音楽療法」について、神経科学・心理学を専門とする坂爪一幸氏よりご講義いただきます。講義2では「理論を踏まえた実践について」をテーマに、神経学的リハビリテーションや応用行動分析学に則った実践を旨としておられる三宅聖子氏にお話をいただきます。

また、B会場では、市販されている音楽療法DVDを使用し「観察・記録、そして解釈」をテーマに、受講の皆様にご覧いただきワークに挑戦していただきます。「現場で何を観るか、それをどう言語化し解釈するか」は、音楽療法士に不可欠な能力です。今回は、吉村副委員長と高山委員長が講師を務め新企画に挑戦します。対象領域は児童です。

2日目は会場をホールに移し、終日「関係性」がテーマです。午前中は、医師で小児精神科医学を専門とする渡辺久子氏に、すべての関係性の源流となる母子関係から学ぶ企画として「こころの響き合い：生気情動、情動調律とコミュニケーション的音楽性」と題してお話しいただきます。午後には現在アメリカで音楽療法士として活躍中の小沼愛子氏より「理論と実践を繋ぐ、臨床即興の様々な手法について」をテーマに、実技を含めたご講義をいただきます。

音楽療法士の認定制度を開始し17年、音楽療法士の資質向上が望まれる時期の企画として、是非多くの会員の方々のご参加をお待ちしております。

2015年2月21日（土） テーマ：知識・情報／観察・記録

	A会場：講義（8階 第一会議室） 対象領域：主に成人・高齢者	B会場：演習（8階 第二会議室） 対象領域：児童
12：50～13：15	開会 ガイダンス 委員会挨拶	開会 ガイダンス 委員会挨拶
13：15～15：15	講義1「認知リハビリテーションと音楽療法」 坂爪 一幸（早稲田大学教育・総合科学学術院 教授）	演習1「ビデオによる観察・記録、そして解釈」 高山 仁 委員長 吉村奈保子 副委員長
15：15～15：30	休憩	休憩
15：30～17：30	講義2「音楽療法：理論を踏まえた実践について」 三宅 聖子（渋谷区障害者福祉センター はあとびあ 原宿 副施設長）	演習2「ビデオによる観察・記録、そして解釈」 高山 仁 委員長 吉村奈保子 副委員長
17：30	一日目終了	

2015年2月22日（日） テーマ：理論と実践

3階 一ツ橋ホール	
9：00～9：05	ガイダンス
9：05～10：25	講義3「こころの響き合い：生気情動、情動調律とコミュニケーション的音楽性」part I 渡辺 久子（LIFE DEVELOPMENT CENTER 渡辺医院 副院長）
10：25～10：40	休憩
10：40～12：00	「こころの響き合い：生気情動、情動調律とコミュニケーション的音楽性」part II
12：00～13：00	昼食
13：00～14：20	講義4「理論と実践を繋ぐ、臨床即興の様々な手法について」part I 小沼 愛子（Music Fits 所属 音楽療法かけはしの会代表）
14：20～14：35	休憩
14：35～15：55	「理論と実践を繋ぐ、臨床即興の様々な手法について」part II
15：55～16：00	閉会 ～ 終了

\*会場は、例年通り東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館です。なお、講師の都合により変更が生じる場合がありますことを、ご了承ください。

\*ご要望にお応えして「土・日曜：各一日参加」を設定いたします。是非、ご参加ください。

## ■ 2014年度資格審査（面接試験）について ■

●2014年度資格審査（面接試験）を申請できるのは次の方です。

1. 日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）資格（合格年度に関わらず）を有する方
2. 日本国外の音楽療法士の認定資格を有する方
3. 日本音楽療法学会認定音楽療法士の資格を失効し、再度同資格の取得を希望する方

●2014年度資格審査（面接試験）申請受付期間

**2015年1月30日（金）～2月13日（金）まで事務局必着**

●申請方法

認定規則「日本音楽療法学会音楽療法士認定規則（面接試験）」を取り寄せ、それに沿って申請する。

**\*認定規則（面接試験）取り寄せ方法**

500円の定額為替（郵便局で購入）を同封の上、「認定規則（面接試験）請求」として事務局へ申し込む（会員のみが配布対象）。

●書類審査結果

2015年2月下旬通知

\*書類審査合格者には面接試験の案内を同封します。

●面接試験日

2015年3月14日（土）、15日（日）

\*希望日がある方は申請時に書面（書式自由）を同封して申し出てください。

\*面接試験日時の通知後の変更は出来ませんのでご承知おきください。

●面接試験会場

東京 聖路加国際大学

\*2014年度の面接地は東京会場のみとなります。

●面接試験内容

口頭試問と実技（合わせて15分間）

\*実技に関する詳細は下記をご確認ください。

●試験結果

2015年3月末日通知

### 《2014年度資格審査（面接試験）における実技について》

1. 面接実技試験弾き歌いのための課題曲は、下記A群（テンポの速い曲群）、B群（ゆっくり目の曲群）の各5曲とする。

A群（テンポの速い曲群）

- |            |                  |
|------------|------------------|
| ①世界に一つだけの花 | 槇原敬之 詞・曲         |
| ②崖の上のポニョ   | 近藤勝也・宮崎駿 詞、久石譲 曲 |
| ③南国土佐を後にして | 武政英策 詞、曲         |
| ④上を向いて歩こう  | 永六輔 詞、中村八大 曲     |
| ⑤高原列車は行く   | 丘灯至夫 詞、古関裕而 曲    |

B群（ゆっくり目の曲群）

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ①あのすばらしい愛をもう一度 | 北山修 詞、加藤和彦 曲   |
| ②川の流れるように      | 秋元康 詞、見岳章 曲    |
| ③湯の町エレジー       | 野村俊夫 詞、古賀政男 曲  |
| ④涙そうそう         | 森山良子 詞、BEGIN 曲 |
| ⑤君をのせて         | 宮崎駿 詞、久石譲 曲    |

2. 実施方法

上記A B各群から2曲ずつ選択し（計4曲）、資格審査（面接試験）申請書に明記する。

申請した曲の中から、当日指定された1曲の弾き歌いを行う。

\*弾き歌いで楽譜を見ることは可とするが、それはコードネームが記載されている楽譜までとして、伴奏全部が記載されている楽譜の持ち込みは不可とする。

3. 使用楽器

会場に用意されるキーボード、または受験者が持参したギターに限定する。

## 第14回世界音楽療法大会 印象記

常任理事 二俣 泉（東邦音楽大学）

第14回の世界音楽療法大会が、2014年7月8日～12日、オーストリアのクレムスにある「IMC 応用科学大学」で開催され、世界各国から1,000名を超える参加者が集まりました。日本からは約60名が参加しました（参加各国の中で、4番目に多い参加者数）。クレムスは、ウィーンから列車で1時間程の距離にある美しい街です。会場の大学も、古い建物と現代的な建築が融合した美しいもので、ヨーロッパ芸術の「美の伝統」を強く感じさせられました。

「音楽療法の実践、研究、教育における文化的多様性」という大会テーマのもと、口頭発表202題、ポスター発表125題の他、多くのワークショップ、ラウンド・テーブルが実施されました。

全体企画の目玉が、毎日異なるテーマで行われる「スポットライト・セッション」（5～6名の発表者による連続講演）です。各日のテーマは、「伝統と文化の多様性」、「音楽療法における臨床実践」、「音楽療法における研究」、「現代の音楽療法の教育と訓練」でした。私の印象に残ったのは、1日目のブラジルの講演者と、2日目のコロンビアの講演者の話でした。

ブラジルの講演者は、ブラジルの病院で実践する音楽療法士でした。ビデオで、音楽が流れると処置中の看護師や同室の患者が皆踊り出す映像が映し出され、文化的背景による音楽反応の相違を実感させられました。コロンビアの講演者は、米国で音楽療法の教育・訓練を受けた音楽療法士が故国のコロンビアで音楽療法の実践を開始したところ、米国とは異なる文化土壤に直面したことが語られました。個人療法のつもりで始めた音楽療法に家族が一緒についてきて結局は家族皆でやることになったりするなど、米国で学んだ「セラピスト——患者」関係とは異なるスタンスで仕事をする必要に迫られた逸話が紹介されました。これらの講演を通じて、「セラピー関係」や「音楽文化」の国や地域ごとの多様性に触れ、日本の文化の中でいかに音楽療法を実践していくべきかについて、改めて考えさせられました。

また、これまでの大会にも増して、多数の日本人による研究発表が採択され、日本の音楽療法の実践・研究が“世界とつながっている”ことを実感した大会でもありました。

講演や発表以外のイベントも充実していて、オーケストラのコンサート、パーティなど、様々な「カルチャー・プログラム」が用意されていました。私は「ドナウ川クルーズ」に参加して、河岸の美しい景色を眺めながらの食事と仲間との語らいのひと時を楽しみました。

学会の学び・楽しみの両面を堪能した5日間でした。



オープニングセレモニー



ワークショップ

## 世界音楽療法連盟 第15回世界大会日本開催のお知らせ

第15回世界大会  
大会長 加藤美知子

去る7月8日～12日、オーストリアのクレムスにて第14回世界音楽療法大会（World Congress of Music Therapy, WCMT）が開催されました。世界音楽療法連盟（World Federation of Music Therapy, WFMT）とは、まもなく創立30周年を迎える世界規模の音楽療法の組織で、3年ごとに世界各地で大会が開催されています。3年前のソウルの大会には日本から約130名が参加し、今回は約60名が参加したとのこと。大会初日の7月8日、日本からの参加者と支援者に囲まれ、日本誘致のプレゼンテーションを、竹歳誠駐オーストリア特命全権大使、村井靖児学会副理事長、私が行いました。そして、当学会主催の日本での世界大会開催が決定されました。誘致のプレゼンテーションに先立ちまして、多くの方々からサポート表明を頂きました。あらためて、ここに感謝を申し上げます。



プレゼンテーション後の WFMT の役員と日本からの参加者と支援者

第15回大会は、茨城県つくば市つくば国際会議場にて、2017年7月3日（月）のプレセミナーを皮切りに、8日（土）まで実施されます。大会テーマは“Moving Forward with Music Therapy - Inspiring the Next Generation”（「音楽療法で前進する – 次の世代を鼓舞しながら」）です。この大会は、2017年の当学会年次大会の代わりとなります。世界大会の特徴はそのプログラムの構成にあります。各2時間のスポットライト・セッション（シンポジウム形式）が4日間にわたって行われ、その他の口頭／ポスター発表、大小さまざまなシンポジウム、ワークショップ等には、誰もが応募できるシステムになっており、これらの審査はWFMTが担当します。WFMTの会員でなくてもエントリーできますし、発表形式もJMTAよりも自由です。現役の学生さんからベテランの方まで、幅広い層の方々からの参加、応募が可能となっています。参加者が主体的に積極的に創っていく大会であると言えるでしょう。複数の枠での発表やワークショップへのエントリーも可能です。

日本開催のメリットは、日本に居ながらにして、世界の様々な音楽療法を通訳や翻訳を通じて体験できる点にあります。今から3年にわたって個人、グループ、あるいは団体が準備することで、これまでにない経験と刺激を受けるきっかけとなり、大会を通じて学会員の皆様が、それぞれステップアップしていく絶好の機会に本大会がなっていくのではないのでしょうか。私たち日本人が抱える英語の問題につきましては十分に配慮を施し、誰もが大いに楽しみ大いに学べる大会にしていく所存です。

大会参加費は、以下のようになっています。学会員早割が3万円、1日参加が9,000円（何日でも可）、プレセミナーは別料金。大会ホームページには、去るクレムス大会の様子が動画で載っており、大会の雰囲気を感じることができます。その他にも Resource Centers には英語が苦手な方でも十分に理解できる情報が、数多く載せられています。WFMT のホームページ <http://www.musictherapyworld.net/WFMT/Home.html> より、「Leadership」「Commissioners」「World Congress」などのタブをクリックするとご覧になれます。ぜひ一回のぞいてみてください。

今後当学会および WFMT のホームページを通じて、2017年の大会についての情報を、随時掲載してまいります。今はまだ途方もない冒険のようなイベントに思えるかもしれませんが、このチャンスを多くの会員の方たちと一緒に分かち合い、最大限に生かしていきませんか！

## 北海道支部 — 近況 —

支部長 安藤 妙子

北海道支部は、180名に満たない小集団ですが毎年変わりなく3月と8月にニューズレターを発行し、春と秋の年2回の研修会を開催してきました。今年も5月25日（日）札幌大谷大学において支部総会・第25回研修会を盛況のうちに終了し会員にとって実り多い場となりました。

秋の研修会は、11月9日（日）札幌大谷大学・4F響（コール）ホールで開催を予定しております。内容は、支部会員の演題発表・「緩和ケア医が語る音楽療法への想いと期待」福原敬先生（札幌厚生病院緩和ケアセンター長）、「北の民族音楽・サハとアイヌの口琴」荏原小百合先生（北海道大学大学院文学研究科専門研究員）最後に音楽療法士に必要な医学的知識として「大脳疾患の症状と行動について」中川賀嗣先生（北海道医療大学心理科学部言語聴覚療法学科教授）3名の先生のご講演をいただきます。

また、来年の第15回日本音楽療法学会・学術大会が2015年9月11日（金）・12日（土）・13日（日）札幌コンベンションセンターで開催されます。内容などについて北海道支部は只今奮闘中です。今後とも北海道支部をよろしく願いいたします。

問い合わせ先事務局：〒065-8567 札幌市東区北16条東9丁目1-1

札幌大谷大学関谷研究室 TEL：011-742-1796

〈他支部会員の参加も歓迎致します。研修会の詳細は、支部HPをご覧ください〉



## 東北支部 — 近況 —

支部長 須佐 涼子

本年度も東日本大震災に関しまして引き続きのご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

東北支部では、2014年6月28日、29日の二日間にわたり、第14回支部学術大会を福島県郡山市において開催いたしました。

福島県ではいまだに多くの方が放射能に対する長期的な不安の中で生活をしています。原発被害によるストレスから、自殺予防についての取り組みも行なわれている現況があります。

今大会では「今ここに、響き合うところを求めて～音楽療法の可能性を探る～」をテーマとし、音楽療法士がその専門性を深め、今ここに、如何に活かしていくべきかを再確認する意味も含めた企画といたしました。

講師には関西学院大学大学院人間福祉学部教授 池埜聡氏、日本大学芸術学部音楽学科教授 土野研治氏のお二人をお迎えいたし、各講義はセラピストとして、人として、クライアントとの関係性における根幹を示していただいた貴重な内容でありました。シェアリングタイムでは、被災4年目、東北の「仲間」として、互いに耳を傾け、会員同士の思い語り合う時間となりました。2日目朝には、地元伝統校「福島県立安積高等学校合唱部」の皆さんによる賛助出演が実現し、会場を素晴らしい歌声で包み込んでいただき、音楽療法の大会に相応しい、その美しき響きに涙される会員も多くおりました。

2014年度講習会は下記のとおり開催予定です。

期日：2015年2月11日（水・祝日）11：00～15：00

講師：石井孝弘氏（帝京科学大学医療科学部作業療法学科教授）

内容：「感覚統合を音楽療法にどう生かすか」（仮題）

場所：日立システムズホール（青年文化センター）仙台市

2016年度の全国大会は仙台での開催となり、実行委員会一同準備に向かっております。

〈問い合わせ先〉

支部事務局 〒982-0841 宮城県仙台市太白区向山4丁目21-5 須佐方

FAX 022-264-4872 E-mail jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp

## 関東支部 — 近況 —

事務局長 猪之良高明

### 1. 関東支部大会・講習会（千葉大会）開催について

第13回日本音楽療法学会関東支部 講習会・地方大会（千葉）が2015年1月31日（土）～2月1日（日）の2日にわたって、千葉市文化センターにおいて開催されます。「音・音楽からのメッセージ～人とつながる・地域とつながる～」を大会テーマに様々な企画で皆様をお迎えしたいと思います。

関東支部会員のみならず他支部会員の参加も歓迎いたしますので、ぜひお越しください。

### 2. 都県別講習会のお知らせ

低料金または無料かつ身近な地域で受講できる研修として、関東支部主催都県別講習会を開催しております。支部以外の会員や一般の方も参加可能な研修もあります。開催要項が変更になることもありますので、今後のニュースや支部ホームページでご確認ください。

#### 今後の研修予定

##### ・栃木県

日時 2014年11月22日（土） 13：30～16：30  
会場 とちぎ青少年センター・第一研修室  
（栃木県宇都宮市）  
内容 音楽療法の文献展望とわが国の課題  
講師 阪上正巳氏（国立音楽大学教授）

##### ・埼玉県

日時 2014年12月6日（土） 10：30～16：10  
会場 さいたま市民会館おおみや（埼玉県さいたま市）  
内容 埼玉県における音楽療法士の実践～その歩みと実践の現場から～  
講師 大澤和子氏（埼玉県障害者音楽交流推進協議会会長）・他

##### ・茨城県

日時 2014年11月30日（日）  
会場 つくば市つくば国際会議場エポカルにて開催（予定）

##### ・山梨県

日時 2015年2月22日（日） 13：00～16：00  
会場 山梨県男女共同参画推進センターびゅあ総合（予定）  
内容 発達障害の臨床的理解と支援  
講師 本田秀夫氏（信州大学医学部付属病院 子どものこころ診療部部長）

### 3. ラーニングサポートセンター研修のお知らせ

本年度より会員へのサポート事業として学会本部より音楽療法推進特別委員会が組織されました。関東支部においても本事業を推進し「ラーニングサポートセンター」を試行することとなりました。つきましては下記の要領で会員サポートのための研修会を試行いたしますので該当する会員はぜひご参加ください。

- ・概要 認定音楽療法士（補）および認定音楽療法士で初任の会員を対象として、音楽療法士としての自立や会員同士の連携を目指した研修
- ・日時 2014年12月14日（日）10：30～16：30
- ・会場 日本音楽療法学会関東支部（ドレミサポートハウス内）
- ・対象 認定音楽療法士（補）および認定音楽療法士で初任（未更新）の会員
- ・内容 事例検討、ワークショップ

いずれの案内も詳細は関東支部ホームページをご確認ください。

関東支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/>



## 信越・北陸支部 — 近況 —

事務局長 西巻 靖和

・信越北陸支部では、平成26年6月21日（土）～6月22日（日）に第12回支部学術大会（大会テーマ「音・心のかげはし」大会長 佐藤順子）を石川県金沢市の「金沢歌劇座」において開催致しました。参加者数は140名（会員60名 一般80名）でありました。

国の特別名勝であり、日本三名園の一つに数えられる「兼六園」に隣接する会場で、公開講演（Ⅰ）として、大会長 佐藤順子先生による日本で数少ない認知症の予防と改善を目指す合唱団である「<sup>かがやき</sup>耀」の演奏とその主宰・指導者でもある佐藤先生より合唱団の取り組み等の講演がありました。素晴らしい歌声と興味深い取り組みをご紹介します。公開講演（Ⅱ）として



江原千絵先生（オーケストラ・アンサンブル金沢第2 ヴァイオリン首席奏者）より「共に生きる」と題し、今までの音楽経験を通して出会った方々とお話を交え、その素晴らしい演奏に皆さん酔いしれておりました。二日目は、事例検討会が行われ、それぞれ違う分野のコメンテーターの先生から多角的なコメントをいただき、能動的な時間を持ち、その後のワークショップ 岡崎香奈先生（神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授）にあらためて音楽の魅力的な機能やその奥深さを体感させていただきました。来年の第13回支部学術大会は長野市での開催予定となります。

支部では研修会等の「情報の共有」を目指し、ブログの開設の準備をしております。広範囲に広がる支部だからこそ連携を意識した活動をしていきたいと考えております。

また来年の支部総会に向けて、支部規定等の改正を目指し、幹事会で検討していく予定です。支部役員選挙も今年度予定されております。

また、団体登録されている研究会等は現在12団体で、活動が休止、事実上停止している団体も若干出てきておりますが、全体的には活発な研究・研修活動が行われております。



## 東海支部 — 近況 —

事務局長 菅田 文子

### ○第14回日本音楽療法学会学術大会準備中です

現在（9月初旬）、東海支部では役員を中心とした実行委員会が、全国大会の準備にサポートをかけております。今大会のテーマ「臨床現場における人と音楽とのエンゲージメントを考える～個を生かし個を結びつける音楽療法～」という興味深い内容に加え、アクセスもよい場所の開催で多くの方のご参加が予想されています。会場の案内やスムーズな運営に向けて皆で知恵を絞っているところです。また、支部役員だけではなく、多くの東海支部の会員にもボランティアとして会場の担当、司会進行など各所でご協力いただけることになっております。このニュースが発行される頃には大会は終了していますが、成功裏に終わっていることを願っています。

### ○支部大会開催地決定

第14回東海支部大会は、2015年3月下旬に名古屋芸術大学で開催される予定です。詳しい日時は正式決定後に東海支部 HP などでお知らせします。

### ○研究発表の質向上への試みを考えています

現在、臨床現場で実践を積み重ねてはいるものの、自身の臨床研究について助言を得る機会の少ない会員もいることから、支部研修会や支部大会の抄録査読の際などに、抄録・論文の書き方について指導が可能な形にならないかと検討しています。現場のセラピストが研究発表の質向上を目指すことが、東海支部、ひいては音楽療法学会全体の底上げにつながると信じて取り組んでいます。



## 近畿支部 — 近況 —

事務局長 池田 智子

近畿支部では2015年3月7日（土）・8日（日）に奈良県奈良市にあります帝塚山大学にて、第13回近畿学術大会を開催します。奈良市では、自治体による音楽療法士養成や音楽療法推進事業など先駆的な取り組みが行われてきました。奈良県は人口比に対して日本音楽療法学会認定の音楽療法士が最も多い県であり、福祉・医療・教育など様々な分野で幅広く音楽療法が実践されています。この奈良県における近畿学術大会の開催に向けて、大会実行委員会と支部講習会企画委員会により準備を進めています。今年度も近畿学術大会ではラウンドテーブルを開催します。ラウンドテーブルとは一つのテーマについて興味を持つ人々が小さな会場でじっくり語り合うという企画で、第10回近畿学術大会において初めて企画され、その後継続して実施されています。

会場の帝塚山大学は、近鉄奈良線「学園前駅」で下車すると目の前がキャンパスで、新幹線新大阪駅から約50分で来ていただける大変便利な場所にあります。他支部の方も歓迎いたしますので、どうぞご参加ください。詳細は近畿支部ホームページをご覧ください <http://www.jmtak.com/>。

2002年より発行しています『近畿音楽療法学会誌』は、原著論文や事例研究、近畿学術大会講習会の内容、近畿支部活動記録の他、上記ラウンドテーブルの報告記事も掲載しています。購読をご希望の方は近畿支部事務局（[jmtak@guitar.ocn.ne.jp](mailto:jmtak@guitar.ocn.ne.jp)）、またはアカデミア・ミュージック株式会社（03-3813-6751）までお問い合わせください。

## 中国支部 — 近況 —

支部長 武田千代美

8月20日、広島市で発生した豪雨による土砂災害で、被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

中国支部事務局のある広島文教女子大学も浸水の被害に遭い、9月10日現在も復旧工事が続いております。このため中国支部事務局の活動は一時休止としております。

活動再開となりましたら、支部HPにてお知らせいたします。

去る、5月24日～25日、岡山市の岡山シンフォニーホールにて、第14回中国支部大会ならびに第21回講習会を開催しました。開催に際しましてご協力を賜りました皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

昨年9月の全国大会で（鳥取県米子市）『音楽療法における新たな「つながり』』と題して大会企画シンポジウムを開催いたしました。この中で話し合われたことを要約しまとめたものを、このほど学会HPに掲載していただきました。どうぞご覧ください。



## 四国支部 — 近況 —

事務局長 三崎めぐみ

相次ぐ台風に悩まされる今夏、毎週末雨の四国地方でした。そんな中、四国支部大会の8月31日は久しぶりの晴天で迎えることができました。開催地は高知、福島からあの「あまちゃん」で皆さんもご存じの大友良英さんを講師にお願いすることができました。ノイズミュージシャンとしての大友さん、実際に演奏もしていただきましたが、朝ドラの主題歌は、お祭りをイメージして作られたそうです、なるほど。それにしても赤ちゃんからお年寄りまで元気になれるパワフルな曲を作ることができる原動力は「人に寄りそうこと」なんだということ強く考えさせられました。そこは私たち音楽療法士にも通じる必要不可欠な部分だと痛感すると同時に、いつもの教育講演とは一味違う濃い充実感のある一日になったと思います。今回、高知の支部大会実行委員は谷絵里子委員長を中心に細かく配慮のあるもてなしを心がけたことが、成功の要因と考えます。四国支部は次年度の支部大会へ期待をしていただくべく徳島での開催へ準備を始めます。



## 九州・沖縄支部 — 近況 —

事務局 西林 淑子

これまで講習会は福岡・熊本・宮崎・大分での開催が殆どで、沖縄からの参加は少なかったことから、去る7月6日、沖縄市のいずみ病院を会場に初めて沖縄での支部講習会を開催した。「音楽療法総論」「現在の音楽療法」「実践例」「表現病理学芸術療法」の講義と「地域性を生かした音楽療法（鼎談）」や沖縄の民族芸能のエキシビジョンと盛りだくさんの内容で、沖縄県の会員は多くはないのであるが参加者は熱心に受講されていた。

沖縄の風土に根差した独自の音楽療法が行われていることを感じ、九州内での一層の交流が行われることを期待して、今後の講習会の企画にも反映していきたい。

※発行日の関係で文中各支部近況の催事が終了しているものがありますのでご了承ください。

## 学会事務局からのお知らせ

### ■ 2014年度（補）資格試験を申請される方へ

2015年1月18日（日）に実施されます2014年度音楽療法士（補）資格試験の受験申請受付期間は、2014年11月14日（金）～11月28日（金）まで必着です。なお、試験の実施会場は東京会場（日本教育会館）1ヵ所のみとなります。（補）試験に関する詳細は、学会ニュース27号16ページをご確認ください。

### ■ 2014年度資格審査を申請される方へ

2014年度資格審査申請（面接試験）期間、申請方法等につきましては、本紙5ページをご覧ください。

### ■ 2014年度資格更新審査および猶予を申請された方へ

2014年10月31日までに提出された更新および猶予申請の審査結果は2015年2月初旬に通知されます。

### ■ 改定版「音楽療法士認定規則（面接試験）」発行のお知らせ

2014年4月1日改訂版「音楽療法士認定規則（面接試験）」の規則書が発行されました。取り寄せを希望される方は、500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「認定規則（面接用）請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。  
※会員限定配布です。

### ■ 「音楽療法士認定規則（一般コース）」の取り寄せについて

500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「認定規則書（一般コース）請求」として学会事務局へお送りください。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。  
※会員限定配布です。

### ■ カリキュラムガイドライン'11の取り寄せについて

会員の方は「カリキュラムガイドライン'11請求」として事務局へお申し込みください。会員外の方は、120円切手を貼付した返信用封筒（B5サイズ、宛名明記）を同封の上お申し込みください。

### ■ 「音楽療法士（補）試験問題解説集」のご購入について

2001年度から2013年度まで過去13回おこなわれました音楽療法士（補）認定試験の試験問題解説集が、年度別と合冊版で発行されています。購入を希望される方は以下に沿ってお申し込みください。

#### 【取り寄せ方法】

希望の試験問題解説集の年度と冊数（合冊版を希望の場合はその旨）を明記の上で、冊数分の合計金額の郵便為替（郵便局にて購入）を同封して、学会事務局へお申し込みください。為替は金額に応じて、1,000円の定額為替を必要枚数購入されても、合計金額の額面で普通為替を1枚購入されても、どちらでも結構です。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

認定音楽療法士（補）試験問題解説集	金額（送料込）
2001年度～2013年度 単年度版（希望年度を明記してお申し込みください）	各1冊 1,000円
2001年度～2005年度、2006年度～2010年度 5ヵ年分合冊版	各1冊 2,000円

## ■ 「抄録の書き方」のご購入について

---

研修・講習委員会編集による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「抄録の書き方請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

## ■ 〈DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性～〉のご購入について

---

15分間の音楽療法の啓発DVDが発売されています。購入を希望される方は1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「DVD「音楽のちから2012」請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

## ■ 学会誌バックナンバー、学術大会要旨集のご購入について

---

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバー、学術大会要旨集バックナンバー購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社  
TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

## ■ 第14回日本音楽療法学会学術大会 講習会資料集の購入について

---

2014年9月に名古屋でおこなわれました、第14回日本音楽療法学会学術大会の講習会資料集の購入を希望される方は、1,500円分の郵便為替（郵便局にて購入）を同封の上「第14回日本音楽療法学会学術大会 講習会資料集請求」として学会事務局までお申し込みください。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

## ■ 会費（年会費）納入のお願い

---

年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。昨2013年度分未納の方はそのまま放置されますと2015年3月末にて会費未納退会となります。この場合再入会はできません。

正会員	10,000円	学生会員	6,000円
購読会員	6,000円	賛助会員	50,000円／1口
払込先	郵便振替口座	加入者名	日本音楽療法学会
		口座番号	00120-9-657711

## ■ 事務局への各種お届けについて

---

### ● 会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで文書にて区分変更の届出をお願いします。書式は自由です。正会員から学生会員へ変更を希望される場合は、学生証のコピーを添付の上、同様に事務局へ届け出てください。

※学生会員の場合は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません、ご注意ください。

※認定をお持ちの方、新認定制度をご受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

### ● 住所・名義変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先に変更があった会員の方は、事務局まで文書にて変更を届け出てください。書式は自由です。名義変更時も同様をお願いします。

※認定をお持ちの方はローマ字氏名も合わせて明記してください。

※その他事務局への各種お届け方法の詳細については日本音楽療法学会ホームページをご覧ください。

## ■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

---

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

- 音楽療法士（補）資格証明書、各種講習会受講証明書、学術大会参加証明書など  
手数料：500円

- 音楽療法士登録証明書、賞状  
手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含まれます。

※3×4 cmの顔写真および、現在お持ちの登録証明書および賞状を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書のみ再発行の場合も、登録証明書・賞状ともに再発行の場合も手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、依頼される際にお名前のローマ字氏名を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

## ■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

---

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。

これは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

## ■ 「団体総合保障保険」のご案内

---

音楽療法士の業務保険を同封のパンフレットのとおりにご案内します。加入を希望される方はパンフレット綴じこみの「保険申込FAX連絡票」にて記載の期日までに事務局まで加入依頼書を請求してください。この保険は日本音楽療法学会会員専用として特別に設定したものです。加入者が少ないと廃止となりますので奮ってご加入いただきますようお願いいたします。

なお、この保険についてのお問い合わせはTEL：044-200-9421のセントラル保険までお願いします。

## ■ 事務局職員の異動について

---

退職2名 宮尾 咲輝（2014年6月30日付け） 石井 明日香（2014年7月31日付け）

採用2名 ゆさ まいこ 遊佐 舞子 あきぐち みちこ 明口 倫子（共に2014年5月1日付け）